

# 自然農法の良さを伝えたい

宮本 智泰さん かおりさん

頓原の小才田地区で自然農法に取り組んでいる宮本夫妻に聞きました。

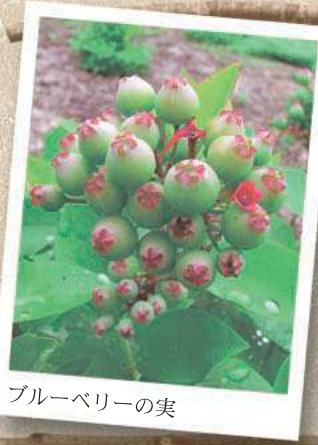
## 自然農法との出会いは

小才田へイターンして農業を始めようと思い、夫婦それぞれ別の農家で研修を受けていました。エコ基準にしたがつて消毒するのですが、思っていたより農薬使用が認められていると感じました。それで自分たちが就農するときは、農薬を使用しないで済むなら、そういう農業をしたいと思うようになりしました。

ちょうどその頃、飯南町で炭素循環農法の研修会が開催され、参加して勉強しました。とても難解な農法でしたが、



夫が以前、しいたけ農家で研修したことが有り、菌のことを理



ブルーベリーの実

解していたので取り組めそうな気がして挑戦しました。今は試行錯誤のくり返しで、うまくいったら次に進んで、そうでなければ他の方法を探すというやり方をしています。今年ブルーベリーが初めてたくさん実をつけて、どのくらい収穫できるか楽しみです。

## 自然農法の魅力は

原種や自然農法に適した種子などを譲ってもらっています。最近、植物を育てるための水が味に影響することを知り、住む場所や農地を選ぶとき、水は大切だと感じています。

丹精込めて作った野菜などをどんな人に食べてもらいたいですか

以前は食の安全や自然農法のことばかり考えていませんでした。昨年、夫が病気をしたのが契機となって、食の大切さがわかるようになりました。

買っていただけの人に、食べることの大切さを強く訴えた頃もありましたが、今は自分の主張を押し付けることはやめました。

私たちが自然農法で作った野菜などを食べてもらい、少しでも幸せな気持ちになってもえればそれでいいと思っています。

**ゴールはどこにあると思いますか**  
病気をしたことがきっかけとなって、欲がなくなり、毎日生きていることが幸せだと感じるようになりました。だから、ゴールはこの土になるときかなと思っています。



商品につけているロゴマーク

## 今月の表紙写真



新庁舎の議場で初の定例会となりました。改めて私たちが担う職責大なると思うところです。さて、中山間地域での共通課題は定住促進ですが、幸い本町は、役場や地域の努力もあって社会人口が微増しています。昔から定住には「医・職・住」の3つが必須と言われていますが、現在は多様な価値観があり、既成概念が通用しません。より一層の努力が求められます。

## 編集後記

入梅しましたが、当地では今のところ少雨傾向です。しかし、熊本地震被災地は豪雨に見舞われ、九州は大変なことになっています。反面、関東地方では、取水制限されている河川があるとのこと。

梅雨前線の動きも平年とは違うようで、平成18年の気候によく似ていると言われています。今更ながら、異常気象に腹立たしくなってきました。

その年は、松江市内が浸水しました。全国各地で大雨による災害が起きた年です。梅雨明けも遅く、7月末ではなかったかと思えます。公共事業が少なくなっています。災害はあってはなりません。大雨や土砂崩れなどに、万全の準備と心構えが必要だと思います。大きな災害が起こらないよう祈るばかりです。

議会広報編集委員会 伊藤 好晴